New Hope ～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2014年5月

5月の第2日曜日は、『母の日』、6月の第3日曜日は『父の日』です。花屋さんはもちろんのこと、ショッピングモールやコンビニでも、たくさんの宣伝文句が目に留まりますね。

札幌ペンテコステ教会
主任牧師　矢巻 邦彦
札幌市中央区南14条西18丁目4-5
TEL&FAX 011-561-5072
http://sapporopk.com/

日頃の感謝を込めて、花やプレゼントを贈ったり、ねぎらいの言葉を掛けたり。

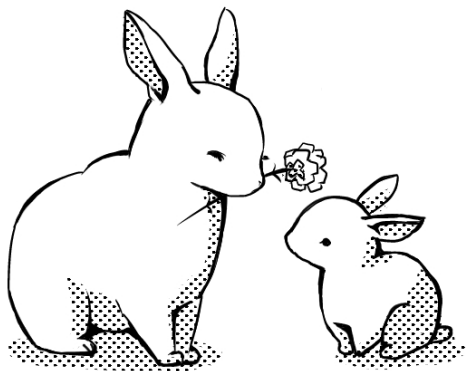
「母の日『だけ』そんな事されてもね。普段からもっとありがたみを感じてもらいたいものだわ」 そういうお母さんもいらっしゃるかも。

じつは、「父と母とを敬う」のは、聖書において命じられている事です。十戒の中で「殺してはならない」よりも先に書いてある、たいせつな戒めです。

子たる者よ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことである。「あなたの父と母とを敬え」。これが第一の戒めであって、次の約束がそれについている、「そうすれば、あなたは幸福になり、地上でながく生きながらえるであろう」。

（新約聖書　エペソ人への手紙　第6章1～3節）

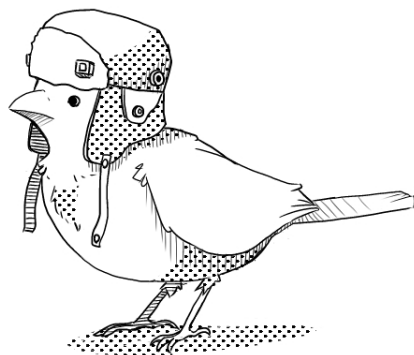
幸福になるために！？

「尊敬に値しないような親なんだ！」 中には、そういう方がおられるかも知れません。でも神さまは、それでもなお「敬う」ことを求めておられます。それが、あなた自身の幸福に影響があるからです。幸福になりたくありませんか？　だったら、父母を敬いましょう。世の理はそのように造られているのです。もちろん、親を敬う「だけ」で無条件に幸福になるとは言いません。「親はあのまんまで構わないって言うのか？　それじゃ、幸福どころか不幸のどん底だ！」 いろんな疑問や愚痴が湧いてくるようでしたら、ぜひ聖書を読み進めてみて下さい。聖書は「人間の取扱説明書」でもあるのですから、その一つ一つに回答が得られることでしょう。

父母を敬うことなく「本当の幸福」を手にすることはできません。父母を邪険にしているけれども幸福ですという人がいたら、それは一時的なものですし、本物とは程遠い感覚に過ぎません。薬物中毒者は薬物が効いている間は多幸感を得ていますが、周囲の人には全く幸福に見えないように。

『道徳』が教科化されるとか、研究者や技術者の『倫理』が取り沙汰されるとか、時々ニュースにもなります。『道徳』や『倫理』を大事にするのは良いことなのですが、その内容は国や地域によっても異なり、また時代とともに変わっていってしまうものでもあります。しかし創造主が定めた真実は、決して変わることがありません。物理法則が国や時代を超えて不変であるのと同様です。

「どうしても、できない……」 そういう方は、ご自分に正直ですね。そもそも、聖書が要求するレベルで「父母を敬う」のは難しいことです。本当にそうする力は、実のところ人間にはありません。イエス・キリストの助けを得て、初めて可能になるのです。そして、あなたが求めるならば、必ず助けが与えられます。聖書に書かれている約束を、ぜひ受け取って下さい。

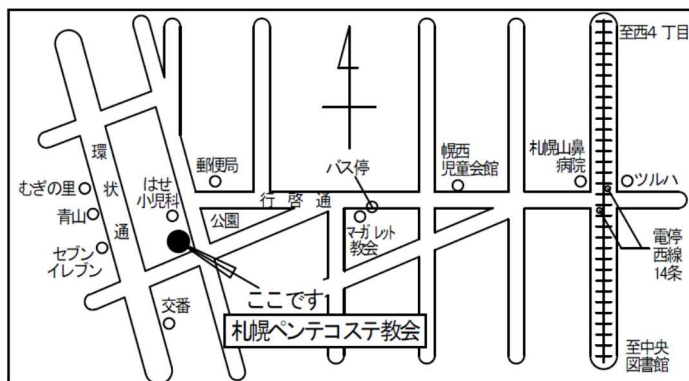
祈ってみましょう

天地の創造主である神さま、父母を敬うことが幸福につながると読みました。真実に敬い、幸福を得ていくことができるように、イエス・キリストによって助けて下さい。聖書に書かれている約束を受け取ることができるようにして下さい。イエス・キリストのお名前によって、お祈りいたします。

教会の定期集会のご案内

GP クラブ　こどものためのプログラムです。(毎週日曜日　あさ 9:00〜10:00)
毎月 1 回日曜日の午後に「GP ワーシップ」もやっています。

聖日礼拝　聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日　あさ 10:30〜12:00)

祈り会　神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日　よる 7:00〜8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。

教会のホームページ
http://sapporopk.com/
NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車